内容

[1 背景 1](#_Toc417652468)

[2 課題 1](#_Toc417652469)

[3 目的、方針 1](#_Toc417652470)

[4 概要 1](#_Toc417652471)

[5 機能 1](#_Toc417652472)

[6 工程計画 2](#_Toc417652473)

[7 成果物 2](#_Toc417652474)

# 背景

パソコンが普及した昨今、千葉工業大学で活動している部活動の会計職が仕事に不満を持っていることに注目した．年度の始まりに，昨年度の決算報告を作成し提出するのだが，レシートや領収書に記入してある，日付，購入物，金額，部類をエクセルにまとめて入力するのが面倒である，ということである．また，領収書の但し書きが書いてなく，購入物の詳細が分からないことも然り．他にも，使用した金額分を購入者に返金しないといけないのだが，誰がいくら使ったかの詳細が不明となり，きちんと返金できない場合もある．

上記の会計職の不満を解決するべく以下の要求を提示する．

# 課題

現在、明らかになっている会計職の不満は下記の通りである．

* まとめて領収書の内容を入力することが面倒である
* 購入したものが把握できていない
* 部類別の総額の算出が面倒である
* 購入者の使用金額の把握があいまいなため，返金ができていない

# 目的、方針

会計職の不満を取り除くために課題を解決する．

# 概要

本システムは，決算報告時に領収書の内容を1人で手入力するのではなく，webアプリを経由して複数のユーザから登録できるようにするものである．そのシステムの内容は，データベースに購入日，購入物，金額，部類の登録と使用金額の算出及び確認，支出金額の総額算出である．

# 機能

以下の機能を設ける

* 会計職用ページ
* 購入者用ページ
* 内容記入ページ
* 決算ページ

# 工程計画

仕様決定 2015年5月8日

外部設計完了 2015年5月29日

内部設計完了 2015年6月19日

開発完了日 2015年7月3日

納品日 2015年7月10日

プロジェクト終了日 2015年7月24日

# 成果物

1. プロジェクト憲章
2. 要件定義書
3. ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャ
4. プロジェクト計画書
5. コスト見積書(概算)
6. 仮契約書
7. 外部設計書
8. テスト計画書
9. 中間発表資料
10. 引き渡し書
11. プロジェクト計画書(見直し)
12. コスト見積書(正式)
13. 本契約書
14. 内部設計書
15. プログラム
16. テスト報告書
17. 納品書
18. マニュアル
19. クオリティ・コスト・デリバリー評価報告書
20. マネジメントレポート
21. 最終発表資料
22. 議事録
23. 作業日報